

知的所有権セミナー

平成10年9月4日(金)、今回関東で始めて行われた「知的所有権」セミナーは、講師に豊沢豊雄氏を迎え、錦糸町にあるアビリティーガーデンで行われた。氏は現在社団法人発明学会会長で数多くの著書をはじめ全国600万人の発明家から「発明の神様」と慕われている。

「知的所有権」というと大変堅苦しい内容になりがちであるが、氏の説明は大変理解し易く実例を交え、穏やかな中、セミナーは進められた。初めに知的所有権の説明があり、特に「著作権」については誰にでも取得できる便利な権利であることを力説。

数多くの企画立案、具体例を出し、新商品として世に出して行くための様々な過程を実際の体験と実例を上げて紹介された。その中の一つに「ジーンズで29階建てのビルを作ったリーバイス社」の話があり、リーバイス社は自社の独占を得るために、ポケットにリベットを使用。こうすることでジーンズがいつそう強そうに見える。「この強そうみえる」ところにデザインとしての権利を取得、つまり意匠

権、著作権が認められリーバイス社は独占権を得て、短期で29階の本社ビルを建てたという具体例である。

このようなことはいままでのデザイナーはあまり気を遣わなかったところである。デザインは意匠権か著作権を取得することで独占権が生まれ、デザインはより大きなビジネスに生まれかわるのである。又、世の中、世界をあげて、「知的所有権」デザインの権利が叫ばれている。このような状況の中、今回の「知的所有権」セミナーは理解しやすく初めての人でも興味のもてるものであった。セミナーの終了後、懇親会に移りセミナーは和やかなうちに終わった。(出席者42名)

最後に、講師の豊沢 豊氏は91歳の高齢にもかかわらず、講師をおひき受け頂き一同感謝申し上げます。

(レポート 今野 文雄)



講師の豊沢氏



知的所有権協会の横井氏



熱心に聴講する会員



講師を囲んで、交流パーティ